

コミュニティ再生・活性化 プロジェクト

いのち・未来戦略本部室
コミュニティ活性化グループ
2024.4.25v1.0

団体概要

団体名

神奈川県

※政策局いのち・未来戦略本部室コミュニティ活性化グループ

概要

- 県では、笑いあふれる**100歳時代**の実現を目指して、コミュニティの再生・活性化に向けた取組を進めています。
- コミュニティには、住まい（ご近所や自治会等）、仕事、趣味など様々な形態があり、市町村や民間事業者などと連携し、現場での課題や取組事例を共有するとともに、地域で活躍している人材、団体等の取組を後押ししていきます。

主な事業

- かながわ人生**100歳時代**ネットワーク
 - コミュニティ再生・活性化モデル事業
 - 大学連携事業
- 等

提案背景

課題認識

県内のコミュニティでは、新型コロナウイルス感染症の影響により、人と人とのつながりが以前よりも希薄になっています。

【例】

- ・ コミュニティ団体の持続可能性の低下（運営の担い手不足、ノウハウの未継承等）
- ・ 子どもと地域コミュニティ団体との交流機会の減少
- ・ 外国籍県民等の地域コミュニティからの孤立 など

『課題解決につながる新たな仕組み』を検討

アイデア 1 / 3

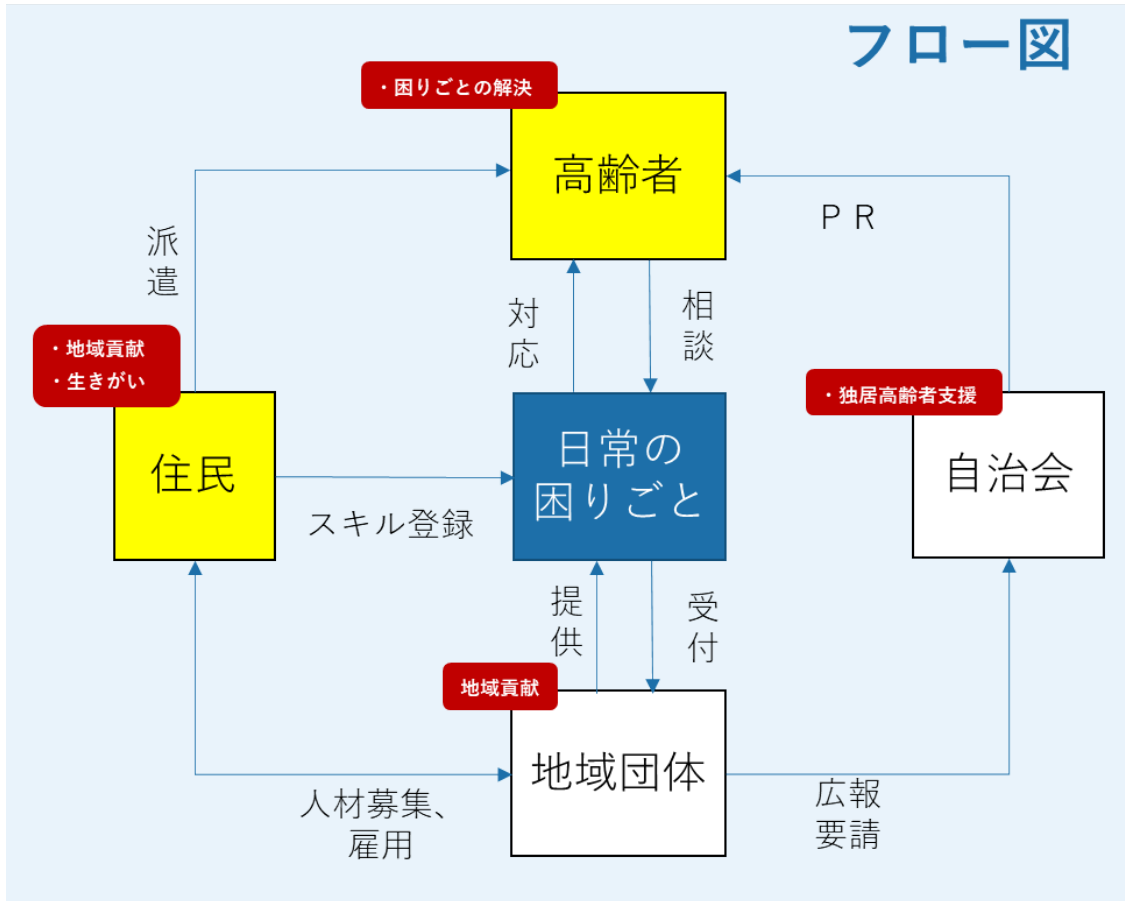
日常生活の困りごとを解決する仕組み

目的

高齢者の日常生活での困りごとを、地域住民が持つ様々なスキルを活用することで解決すること

ステークホルダーのメリット

フロー図



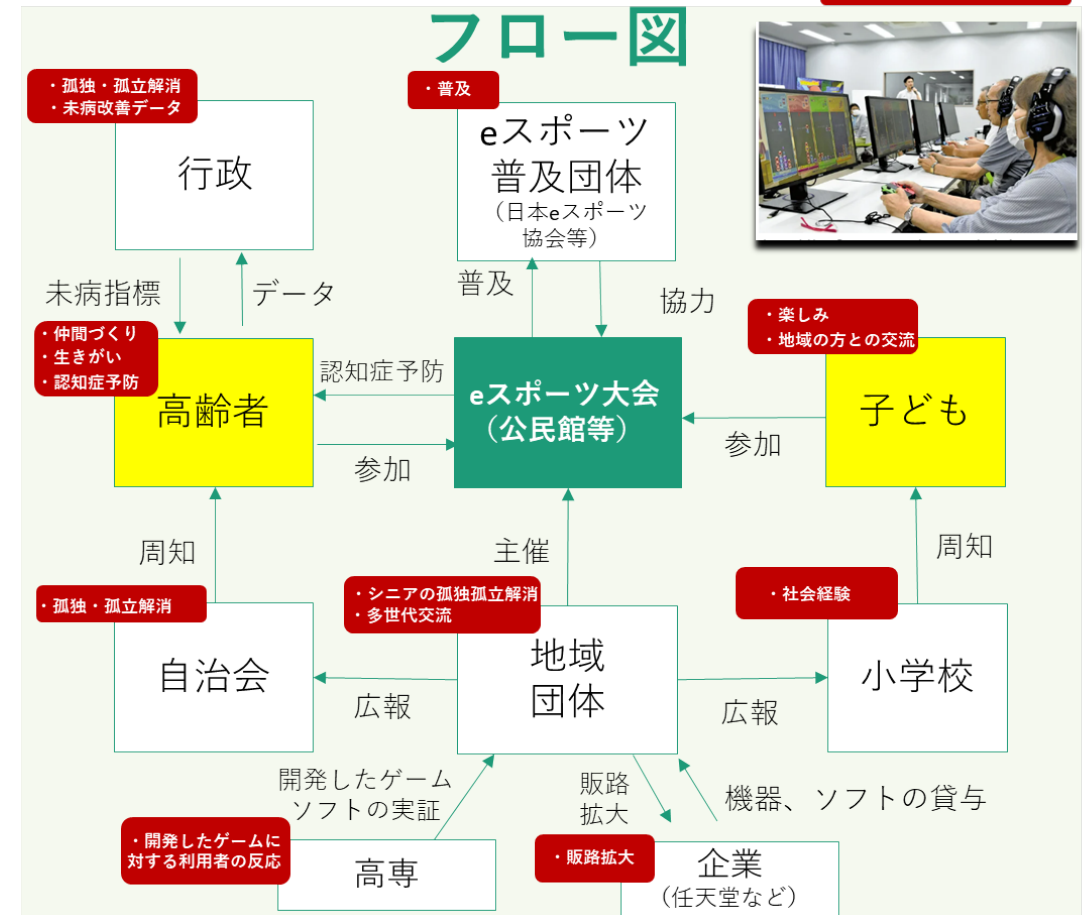
eスポーツ × 高齢者 × 子ども

目的

高齢者が、高齢者同士もしくは子どもと、eスポーツを介して交流することで、孤独・孤立の解消及び認知症予防につなげること

ステークホルダーのメリット

フロー図

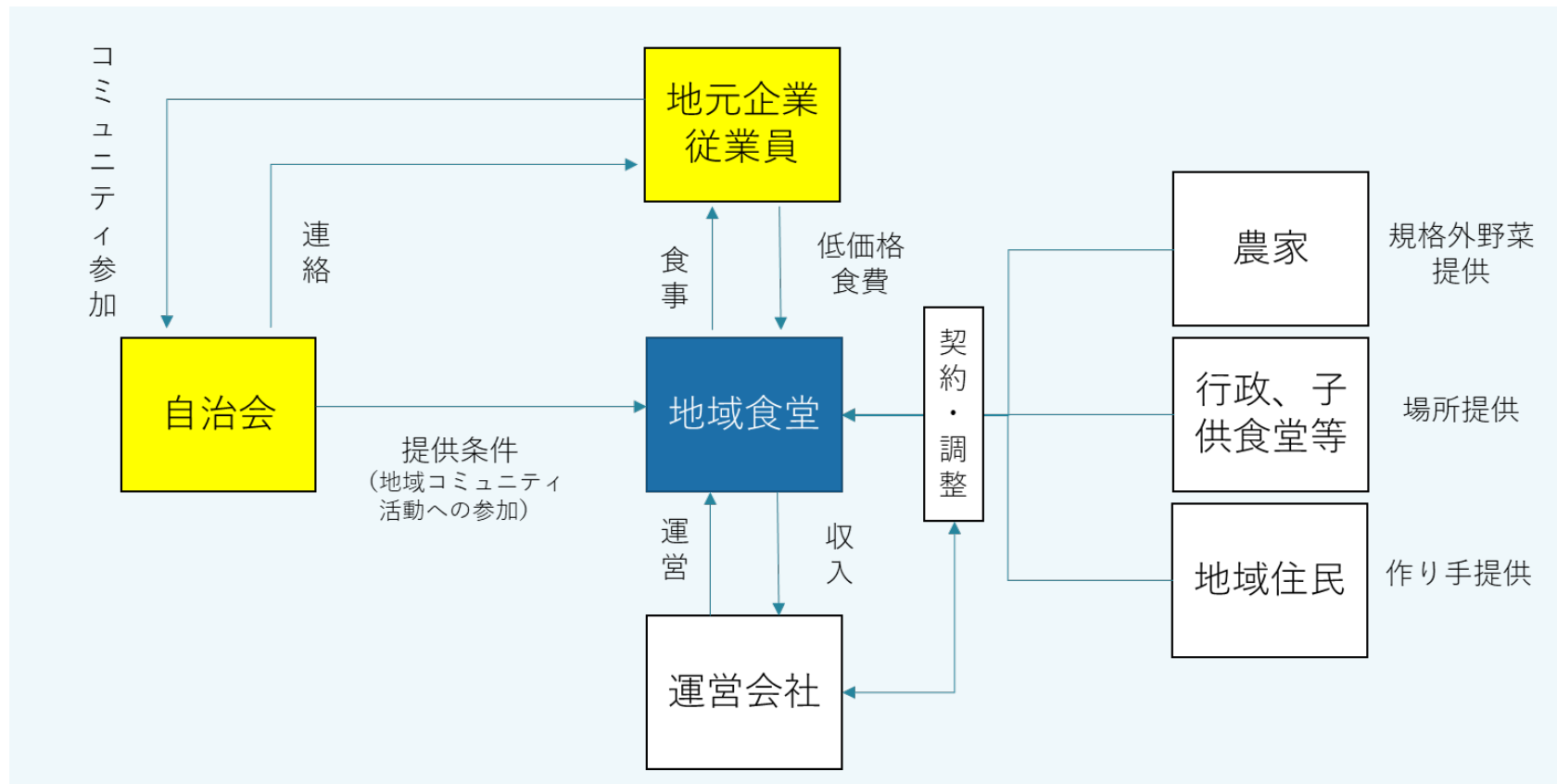


アイデア 3 / 3

地場企業 × 地域コミュニティ

目的

自治会における、担い手不足や現役世代の不参加といった課題を、地元企業（インセンティブの付与）と連携することで解決こと。



事業概要①

概要

- 『課題解決につながる新たな仕組み（アイデア）』に関心を持っていたただいた団体と議論を重ね、実際にフィールドで試行しながら、新たなモデルケースを構築

場所

- 案件によってフィールドは様々
- 打合せは、オンラインもしくは県民センター（対面）を想定

経費

- 県側の予算は無し

期待する効果

①日常生活の困りごとを解決する仕組み

➡ 高齢者の困りごとの解消やコミュニケーション機会の創出

②eスポーツ×高齢者×子ども

➡ 高齢者の孤独・孤立の解消、認知症予防。子どもの地域での交流機会の創出

③特技×高齢者×メルカリ

➡ 高齢者の生きがい・やりがいの創出

④空き家対策×地域コミュニティ

➡ 空き家問題の解消、多世代での交流機会の創出

⑤地場企業×地域コミュニティ

➡ 自治会の担い手不足や現役世代の不参加問題の解決

対応するSDGsのゴール

3 すべての人に
健康と福祉を



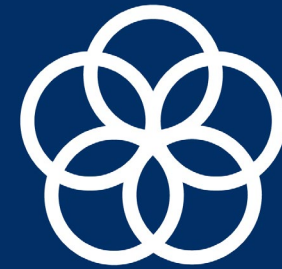
4 質の高い教育を
みんなに



11 住み続けられる
まちづくりを



17 パートナーシップで
目標を達成しよう



連携を期待するリソース

行政・NPO・企業・大学・団体の皆様へ

実施場所

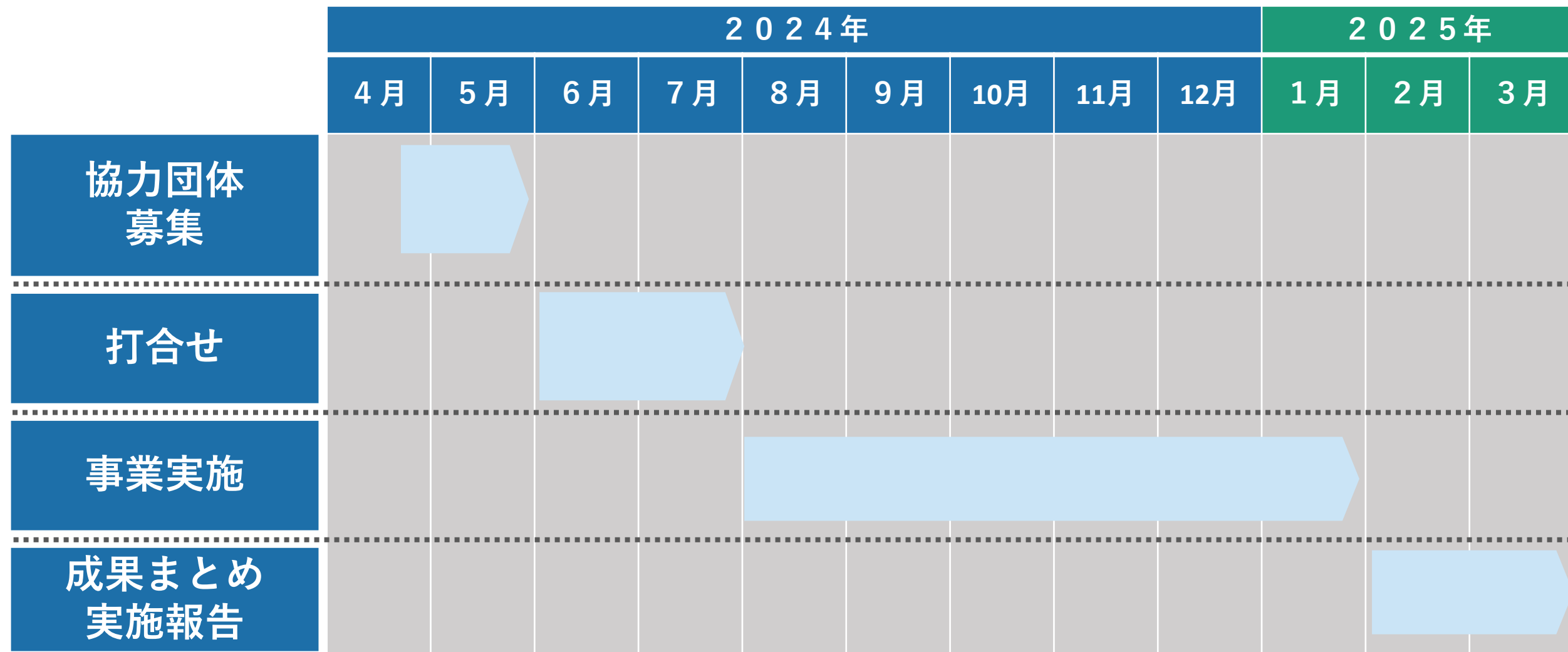
コンテンツ

団体の紹介



上記いずれかにご協力いただけると幸いです

2-1-5 事業スケジュールイメージ



ネットワーク団体へのメッセージ

- 今回のご提案は、まだまだアイデアレベルのものですが、少しでも関心を持っていただいた団体の皆様と議論を重ね、実際にフィールドで試行しながら、新たなモデルケースを構築したいと考えています。
- ネットワーク団体の皆様のお声かけをお待ちしています。